奈良県教育委員会

週　報

第２２４０号

平成２８年２月１８日発行

目　　次

（件　　名）	（宛　先）	（主管課）	（頁）
平成２８年度奈良県教育委員会指定研究員の募集について	各市町村教委教育長 各公立学校（園）長	教育研究所	1
平成２８年度第１学期における外国語指導助手の派遣について	各市町村教委教育長 各公立小学校長 各県立学校長	教育研究所	7

（次の週報は、平成28年3月3日（木）発行の予定です。）

教 研 第 ４ ５ ０ 号
平成２８年２月１８日

各 市 町 村 教 委 教 育 長
各 公 立 学 校 （ 園 ） 長
殿

奈良県教育委員会教育長

平成２８年度奈良県教育委員会指定研究員の募集について（通知）

このことについて、下記により募集しますので、関係教職員へ周知するとともに、応募についてよろしくお願いします。

記

１　趣　旨

本県教育の向上に役立てるため、奈良県教育委員会指定研究員（以下「研究員」という。）を指定し、教育に関する実践的な研究を奨励する。

２　対象者

県内の公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭、養護教諭、栄養教諭、主事、主任主事、主査等で校長の推薦を得た者とする。

３　期　間

指定の日～平成２９年３月３１日まで

４　募集人数

２０名

５　研究主題

別表（平成２８年度奈良県教育委員会指定研究　研究主題一覧表）

６　研究の進め方等

（１）　プロジェクト研究は、研究員が、県立教育研究所の指導主事等と共に、同一主題を研究する他の研究員と協議しながら、所属校（園）の協力を得て研究を行う。

（２）　個人研究は、研究員が、個別の研究主題について県立教育研究所の指導主事等の指導・助言を受け、所属校（園）の協力を得て研究を行う。

（３）　研究員は、原則として、研究期間中１０回、県立教育研究所又は研究員の所属校（園）で研究会等を行う。

（４）　研究主題によっては、専門家等のアドバイザーを設置する場合がある。

（５）　研究員は研究の成果をまとめ、研究期間終了後に県立教育研究所Webページに掲載するとともに、県立教育研究所における教育セミナーや研修講座等で報告する。

７　旅　費

本事業の実施に伴う旅費は、県立教育研究所で負担する。

８　応募手続き及び書類提出先

（１）　応募に必要な書類

ア　申込書（第１号様式）

イ　市町村立学校（園）の場合には、校（園）長の推薦書（第２号様式）、県立学校の場合には、校長の推薦書（第３号様式）

（２）　提出先

県立教育研究所　研究開発部

〒636-0343　磯城郡田原本町秦庄２２－１

（３）　応募期日等

平成２８年４月１５日（金）までに、（１）ア、イの書類を提出すること。ただし、市町村立学校（園）の場合は、当該市町村教育委員会を通じて提出すること。

９　平成２８年度奈良県教育委員会指定研究員第１回研究会

（１）　日時

平成２８年５月６日（金）１５：００～１７：００

（２）　場所

県立教育研究所　磯城郡田原本町秦庄２２－１

（別表）

平成28年度奈良県教育委員会指定研究　研究主題一覧表

共通テーマ　「ともに学ぶ場の創造に向けて」

プロジェクト研究　（研究員16名）

	分　野	研 究 主 題	研　究　内　容	募集人数等
Ⅰ	幼小接続	遊びから主体的な学びへつなぐ幼小接続の在り方	幼児期から児童期への学びを円滑に接続するためのカリキュラムについて研究する。	小学校とその校区内の幼稚園から 計４名
Ⅱ	学校事務	学校事務業務改善による事務の効率化	学校事務職員が学校運営に積極的に関わることで、よりよい教育活動の支援が効率的に行われることについて研究する。	小学校、 中学校から 計２名
Ⅲ	言語活動の充実１	アクティブ・ラーニングの視点からの授業づくり	＜国語＞ 育成したい資質・能力を明確にし、深い学びの過程が実現できる国語科の授業づくりについて研究する。	小学校、 中学校、 高等学校から 計１名
	言語活動の充実２		＜外国語活動・英語＞ 主体的、協働的に学びながら、知識・技能の活用力を育む外国語活動・英語科の授業づくりについて研究する。	小学校、 中学校、 高等学校から 計１名
	言語活動の充実３		＜社会・地歴＞ 用語を道具として使いながら、作業的・体験的な学習を取り入れ、多面的・多角的な思考を育む授業づくりについて研究する。	小学校、 中学校、 高等学校から 計１名
	理数教育１		＜理科＞ 目的意識をもって観察や実験を行うことで、科学的に探究する力を育成する理科の授業づくりについて研究する。	小学校、 中学校、 高等学校から 計１名
	理数教育２		＜算数・数学＞ 習得した知識・技能を活用する力を育成する算数・数学科の授業づくりについて研究する。	小学校、 中学校、 高等学校から 計１名
	ＩＣＴ活用		主体的・協働的な学びを実現するために効果的なＩＣＴの活用の在り方について研究する。	小学校、 中学校、 高等学校から 計１名
Ⅳ	教育相談	開発的教育相談の効果的な活用の在り方～ストレスマネジメントを中心として～	児童生徒の学校不適応の未然防止等に向け、ストレスマネジメントを中心とした開発的教育相談を教育活動に導入し、その効果的な活用の在り方について研究する。	小学校、 中学校から 計２名 ２年間の継続研究
Ⅴ	特別支援教育	障害のある子もない子もともに学ぶ学校づくり～インクルーシブ教育システムの構築を目指して～	共生社会の形成を目指して、障害のある子どもが、その能力や可能性を最大限に伸ばし、自立や社会参加につなげるためのシステムの構築について研究する。	小学校、 中学校、 高等学校、 特別支援学校から 計２名

個人研究　（研究員　４名）

分　野	研　究　主　題	募　集　人　数　等
校内研修	若手教員育成のためのＯＪＴ	小学校、中学校、高等学校から 計１名
教材・教具	学習意欲を高める教材・教具	小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校から 計２名
人権教育	人権が尊重される学習活動づくり	小学校、中学校、高等学校から 計１名

（第１号様式）　　（Ａ４判）

年　　月　　日

県立教育研究所長　殿

学校（園）名

職　　氏　名　　印

平成２８年度奈良県教育委員会指定研究員申込書

平成２８年度奈良県教育委員会指定研究員を下記のとおり希望します。

記

研究部門（該当番号を○で囲み、分野を記入する）	Ａ　プロジェクト研究（プロジェクト番号　Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ　） （分野　　） Ｂ　個人研究 （分野　　）
研究主題	
研究主題に関する現在までの研究の経過と今後の研究計画	
上記研究主題以外の研究	

（第２号様式）　　（Ａ４判）

第　　号
年　　月　　日

県立教育研究所長　殿

○○立○○○○学校（園）長　　印

平成２８年度奈良県教育委員会指定研究員推薦書

平成２８年度奈良県教育委員会指定研究員として下記の者を推薦します。

記

応募者職氏名	
研　究　主　題	
推　薦　理　由	

第　　号
年　　月　　日

上記のとおり推薦がありましたので申請します。

○○○○教育委員会教育長　　印

（第３号様式）　　（Ａ４判）

第　　号
年　　月　　日

教育研究所長　殿

○○○○学校長　　印

平成２８年度奈良県教育委員会指定研究員推薦書

平成２８年度奈良県教育委員会指定研究員として下記の者を推薦します。

記

応募者職氏名	
研究主題	
推薦理由	

教研第４５４号
平成２８年２月１８日

各市町村教委教育長
各公立小学校長
各県立学校長
殿

奈良県教育委員会教育長

平成２８年度第１学期における外国語指導助手の派遣について（通知）

公立小学校及び県立学校における外国語指導助手（以下、「ＡＬＴ」という。）の派遣について、下記事項に留意の上、平成２８年４月８日（金）までに申請願います。

記

１　派遣期間

（１）　平成２８年４月１８日(月)から平成２８年７月２０日(水)までとする。

（２）　派遣日は、原則として月曜日から金曜日までとする。

２　派遣申請等の手続き

（１）　県立学校が県立教育研究所に配置しているＡＬＴの派遣を希望する場合について

ア　様式１により、派遣を希望する県立学校の校長が、県立教育研究所長宛て申請すること。

イ　ＡＬＴの派遣日については、調整の上、後日決定し改めて通知する。

ウ　ＡＬＴの派遣が決定された場合、校長は、派遣日の１週間前までに、次の(ｱ)～(ｳ)の文書を県立教育研究所長宛て提出すること。

(ｱ)　ティームティーチング指導案（日時、場所、日程、内容及び担当者名を明記したもの）
なお、指導は、当該校教員とのティームティーチングによること。

(ｲ)　ＡＬＴへの連絡事項

(ｳ)　最寄り駅から学校までの道順

（２）　公立小学校の外国語活動等に関わって、最寄りの県立高等学校に配置されているＡＬＴの派遣を希望する場合について

ア　様式２により、派遣を希望する小学校を管轄する市町村教育委員会教育長が、拠点校の高等学校長宛て申請すること。なお、派遣希望日は、拠点校の定期考査期間中や長期休業期間中を原則とする。

イ　ＡＬＴの派遣日については、文書による申請前にあらかじめ当該小学校長と当該高等学校長の間で調整しておくこと。

ウ　ＡＬＴの派遣が決定された場合、当該小学校長は派遣日の１週間前までに、次の(ｱ)～(ｳ)の文書を当該高等学校長宛て提出すること。

(ｱ)　ティームティーチング指導案（日時、場所、日程、内容及び担当者名を明記したもの）
なお、指導はティームティーチングによること。

(ｲ)　ＡＬＴへの連絡事項

(ｳ)　最寄り駅から学校までの道順

３　派遣旅費

（１）　上記２の（１）の派遣に要する費用は、県教育委員会が負担する。

（２）　上記２の（２）の派遣に要する費用は、派遣を希望する小学校又は市町村教育委員会が負担する。

４　ＡＬＴの職務

（１）　公立の中学校又は高等学校における外国語科等の授業の補助

（２）　公立の小学校における外国語活動等の補助

（３）　外国語教材作成の補助

（４）　外国語科担当教員等に対する現職研修の補助

（５）　特別活動や部活動等への協力

（６）　外国語担当指導主事や外国語担当教員等に対する語学に関する情報の提供

（７）　外国語スピーチコンテストへの協力

（８）　地域における国際交流活動への協力

（９）　その他所属長又は校長が必要と認める職務

５　県立学校等におけるＡＬＴの配置

上記派遣期間中の、県立学校等におけるＡＬＴの配置は、次頁の表のとおりである。

平成２８年度第１学期の県立学校等におけるＡＬＴの配置表

（平成２８年４月１日以降）

拠点校等	グ ループ校
奈良高等学校	奈良朱雀高等学校
西の京高等学校	畝傍高等学校
平城高等学校	高円高等学校
登美ケ丘高等学校	大和中央高等学校
高田高等学校	香芝高等学校
郡山高等学校	畝傍高等学校
添上高等学校	山辺高等学校、山辺高等学校山添分校
二階堂高等学校	奈良情報商業高等学校
橿原高等学校	青翔中学校・青翔高等学校
畝傍高等学校	――――――――――――――
桜井高等学校	――――――――――――――
五條高等学校	御所実業高等学校
青翔高等学校	畝傍高等学校
生駒高等学校	奈良北高等学校
榛生昇陽高等学校	大宇陀高等学校
西和清陵高等学校	王寺工業高等学校
法隆寺国際高等学校（２名）	――――――――――――――
高取国際高等学校（２名）	青翔中学校・青翔高等学校
大和広陵高等学校	磯城野高等学校
大淀高等学校	吉野高等学校
十津川高等学校	十津川村立十津川中学校
教育研究所	特別支援学校等

（様式１）

○　○　第　　号
平成　　年　　月　　日

教　育　研　究　所　長　殿

○○○○学校
校　長　　氏　　名　　印

平成２８年度第１学期における外国語指導助手の派遣について（申請）

このことについて、下記のとおり外国語指導助手の派遣をお願いします。

記

希望年月日	指導学年	授業等担当者氏名

（様式２）

○　○　第　　号
平成　　年　　月　　日

県立○○高等学校長　　殿

○○教育委員会
教育長　　氏　　名　　印

平成２８年度第１学期における外国語指導助手の派遣について（申請）

このことについて、下記のとおり外国語指導助手の派遣をお願いします。

記

小学校名	希望年月日	指導学年	授業等担当者氏名